

平成28年度

事業報告書

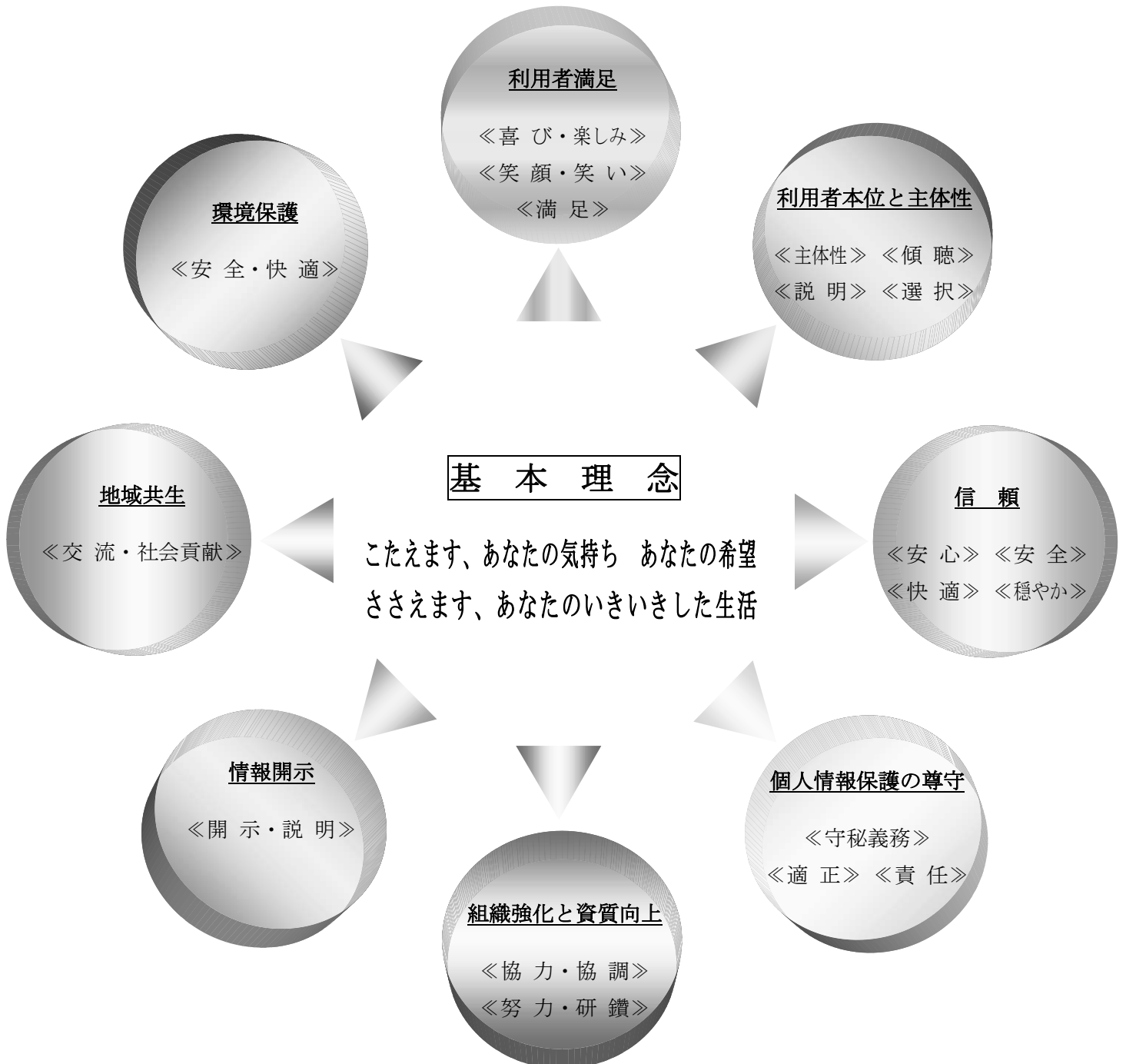
社会福祉法人 札幌厚生会

白石福祉園

基本理念及び基本方針

救護施設 白石福祉園

《私達の基本的な考え方》



施 設 の 概 要

1	施設の名称	白 石 福 祉 園
2	所 在 地	札幌市白石区川北 2272 番地 8
3	施設の種類	生活保護法による救護施設
4	設 置 主 体	社会福祉法人札幌厚生会
5	経 営 主 体	同 上
6	設立年月日	昭和 29 年 12 月 14 日
7	創 立 者	助 川 貞 利
8	理 事 長	上瀬戸 正 則
9	施 設 長	石 井 喜代美
10	入 所 定 員	100 名
11	職 員 構 成	施設長：1 事務員：2 主任生活指導員：1 介護職員：17 看護師：2 栄養士：1 調理員：4 介助員：1 医師(2)嘱託 計 29(2)名
12	移 転 改 築	平成 6 年 3 月 10 日（白石区川北に移築）
13	敷 地 面 積	5, 0 4 3 m ² （札幌市貸与）
14	建 物 面 積	2, 8 8 1. 8 3 m ² （札幌厚生会）
15	施設の沿革	

昭和 29 年 8 月札幌市において、天皇、皇后両陛下を迎えて北海道国民体育大会が開催されたが、この機会に札幌駅及び市内に散在する浮浪者ならびに一時保護者を桑園駅前にある元市営市場事務所を使用、収容したのが始まりである。その後、閉鎖するに当たり、帰住先のない人や他施設への収容替えが不可能な身体的、精神的に障がいがあり、独立して日常生活ができない人が 30 名程おり、この人々のため施設の設置を札幌市と協議し、現在の白石区平和通 5 丁目に市所有地 7,260 m²の無償貸与を受け、共同募金配分、寄付金により 280.5 m²の園舎を建築し事業を開始した。

利用者の激増により、昭和 30 年、32 年、38 年度道費補助により増築、定員 150 名となったが、平成 3 年度法人の利用者調整により定員 100 名となる。

平成 5 年 6 月には、市有地 5,045 m²の無償貸与を受け、永年の計画であった老朽整備による建替が行われ、平成 6 年 3 月 10 日完成（3/21 移転）し現在に至る。

施設機能の強化面においては、「救護施設が取り組む生活困窮者支援の行動指針」に基づき、平成 27 年度までの各種事業の取り組むべき計画の中から、平成 26 年 9 月から利用者 3 名による「居宅生活訓練事業」を実施している。

総 括

はじめに

ここ数年来、利用人員が定員割れをしている状況が続く中、前年度は月平均措置人員が 91.8 名だったのに対し今年度は 96.2 名と前年度を上回る人員確保が出来ました。居宅生活訓練事業のように、自立支援を目標にした短期利用など対応の幅を広げるように努め、また一時入所についても積極的に対応してきました。しかし、定員の確保は出来ていない状況であり、今後も関係機関との連携を強め、様々なニーズに対応できるように努めなければなりません。

また、改正社会福祉法の施行により、これまで以上に公益性の高い事業運営が求められますが、白石区北郷瑞穂福祉推進委員会活動への参加（高齢者世帯の見守り・訪問活動）と、白石区社会福祉協議会の福祉除雪サービス活動への参加（お年寄りや障がいのある方宅の除雪）は重要な位置づけであり、施設職員としてというより社会福祉法人の職員としてという意識のもと継続して活動しました。

さらに、救護施設が取り組む生活困窮者支援の行動指針による居宅生活訓練事業のみではなく、生活支援困窮者支援にかかるホームレス支援センターや生活就労支援センターなどの関連機関との協力を進め、就労訓練事業に 1 名を受け入れ対応をしました。

施設利用者さんの状況について、平均在所期間が 20 年以上、年齢も 70 歳以上となっており、自立支援を目標にする一方、生活の場としてこれからも支援していけるよう、一人ひとりのニーズに応えられるように努めました。

<重点目標>

1. 個別支援の充実

利用者さん一人ひとりの満足のためにはその人のあった支援が必要であり、個別支援計画の作成と実践を進めていきました。利用者さんとの対話を重視し、一人ひとりの意向を尊重し、日々の日課やクラブ活動、作業、レクリエーションなどの企画実施に生かせるようにし、自立支援、地域での生活を希望される方には、居宅生活訓練事業への参加や、必要な支援を受けられる地域資源の活用などに結びつけるように努めました。

また、施設生活において依存的にならないよう自立を促し、主体的な生活ができるよう働きかけに努めました。

2. 信頼関係の基づく支援

個別支援を進めていくうえでも基本となるのは対人的な信頼関係であると考え、利用者さん一人ひとりを尊重するうえで、問題とされる虐待行為の防止のためにも意識の向上と、利用者さんとの信頼関係の構築に努めました。

3. 健康の維持管理

生活を楽しくしていくためには、何よりも健康の維持管理が重要と考えます。しかし、もともと疾患を抱えていたり、高齢化による ADL の低下など、不安や悩みを抱えているのが常と受け止め、日常の関わりを大切にしました。

日課として機能訓練、また、柔道整復師による個別のリハビリ訓練を継続実施し ADL 低下の防止を図り、内科、精神科嘱託医、通院先の医療機関との連携を密にし、健康管理に努めました。また、感染症対策については、「予防」を重視し、保健衛生委員会を中心とした注意喚起や日常の衛生指導に努めました。

4. 食事と栄養管理

生活の中で大きな楽しみの一つである食事について、献立や提供の仕方を工夫し、楽しんで食事をしていただくとともに、健康管理のために必要な配慮をし、介助を要する人には誤嚥や喉詰りが無いように努めました。

また、食材及び厨房設備備品の衛生管理、従事する厨房職員並びに介助する職員全員の衛生管理も徹底する必要があると、保健衛生委員会及び栄養士の主導のもとに、利用者さんを含めての衛生教育、管理を進めました。

5. 居宅生活訓練事業、緊急一時入所事業

地域生活訓練事業については、就労や地域生活への移行という実績もできてきていますが、課題を明確にしながら共に取り組んでいくこと、地域生活移行後に必要であれば相談体制を取れるように、独自に地域生活移行者見守り事業として、地域生活移行者の見守りを行いました。

緊急一時入所に関して、単にホームレス状態ということではなく、別な生活課題を抱えている利用状況もあり、実施機関や他の関連機関との連携のもと支援をしました。

6. 地域貢献活動

地域貢献活動は前述のとおり社会福祉法人の責務とされることもあり、これまでの関係団体（町内会や社会福祉協議会等）との連携を図りました。

白石区北郷瑞穂福祉推進委員会活動では、3名の推進委員で7名を担当し訪問見守りを行い、白石区社会福祉協議会の福祉除雪サービス活動は雪が少なかったことでもあります。7回の出勤でした。

7. 防災対策

特にハザードマップにおいては水害を受ける危険地域となっていることから、常日頃から想定外ではなく被害を想定した対策を確認し、安全に避難できる体制を整えるためのマニュアルを作成し、その想定のもとに訓練も実施しました。

また、火災や地震による非難に関して、専門業者による防災設備点検のみではなく日常点検の実施や、防火管理者主導のもと、職員に対する教育指導や施設全体での避難訓練を定期的に行いました。

8. 職員の資質、処遇の向上

複雑化・多様化する福祉ニーズへの対応と、施設に求められる機能強化のため、職員資質と処遇技術の向上を図るため、利用者さんへの身体拘束、虐待防止に関する研修や、各種の外部研修への職員参加を計画的におこない、救護施設親愛の家（歌志内市）、救護施設東明寮（帯広市）と交換研修を継続実施しました。

また、救急救命、認知症への理解、防犯対策に関する内部研修を実施しました。

9. 利用人員の確保

ここ数年、新規利用者さんの取扱が少ないことから定員割れの状態が続いており、「入所には対応が困難」ではなく「どうしたら対応していけるか」、また、地域生活に移行する、他の機関を利用するまでの短期的、一時的入所も含めた対応の幅を広げていくように努めました。また、そうした対応のためにも、医療機関や相談機関等との連携作りにも努めました。

10. 各種委員会活動の取り組み

(1) ヒヤリ・ハット委員会

今年度も多くの報告があり、職員間で防止策を検討し迅速な対応をしてきました。

ヒヤリ・ハットの傾向としては、一人の利用者さんに見られる報告が多く、全体的な人数としては減少傾向にあると感じます。個々に対する対策を検討することで更にヒヤリ・ハットが減少できることが確認されたと思います。しかし、高齢化・障がいの重度化が顕著であることから、未然に防げる対策を職員間で今後も検討して行きたいと思えます。

(2) メンタルヘルスケア委員会

外部の専門的な研修に3名の委員が参加し、委員会にて研修会で学んできたことを共有することが出来ました。現在の職場の雰囲気は、勤務時間外での外部団体開催の食事会やスポーツレクリエーションへの職員同士の参加が多く、適度なストレス発散が出来ている状況が見受けられ、比較的良い雰囲気であると感じられます。これを維持していくために、継続的に外部団体で開催されている交流事業への案内を積極的に回覧し、気分転換の出来る場の提供の周知を積極的に行い、多くの職員が誘い合って参加している様子が見受けられました。来年度以降は、この外部団体の交流事業に委員による声掛けを行い、多くの職員と一緒に参加して、この職場の雰囲気を維持していけるよう勧めていきたいです。

(3) 評価基準委員会

台風による災害が道内各地で見られたこともあり、この委員会で検討すべき事項か疑問はありましたが、非常食や災害時に使用する備品等の準備と保管場所について検討し、無事に災害時に不便なく利用することが出来るよう設置・確保することが出来ました。また、全職員への周知の徹底を図ることが出来ました。今後は、他地域の救護施設や当法人の各施設で受けている第三者評価を受けていかななくてはならないと考えております。第三者評価を受けることにより様々な刺激を受けるとともに改善しなくてはならないことにも気づき、施設職員としての意識向上が図れるものと考えております。

(4) 保健衛生委員会

例年ではありますが、委員会としてノロウイルス・インフルエンザ等の感染症の対策を中心に施設内の消毒を進めてきた結果、今年度はそのような感染症が発生することなく、利用者の安心した生活を守ることが出来たと感じております。施設利用者の中でも高齢者に限ってはありますが、肺炎球菌ワクチンの接種も進めて参りました。今年度においても同様に進めて参りたいと考えております。本年度に行ったマニュアルにもとずいた、職種間の連携を深め予防や重度化にならないように活動していきたいと思えます。

(5) 施設内研修委員会

今年度は地域の薬剤師さんから「薬の正しい服用の仕方」、年度初めに行ったアンケートで「認知症」をテーマに「認知症サポーター研修」を外部の講師をお招きして研修を行いました。普通救命講習も継続的に行い、知識・技術の再確認し、有事の際に生かせるように研修を実施しました。

今年度より職場見学会も新たに施設内研修委員会で行う事となり、職員のお子さんを対象に「白石福祉園」の内容を学ぶ機会を作らせていただきました。

また、施設の防犯についても考えさせられる事件があったため、管轄内の警察署の方に「防犯講習」も実技も含めて研修させていただきました。

来年度も職員の要望やスキルアップ、社会情勢を踏まえながら研修を組んでいきたいと思えます。

(6) 身体拘束廃止委員会

重度の障がい者に対し、安全確保のため拘束せざる得ない場合もあり、家族の同意の元対応させて頂いているが、できる限り拘束をしない環境を考え居室の整備等を行ってきました。職員の見守りや観察を細目におこない、拘束時間等を短縮または廃止できる対応をおこなっています。

平成28年度事業実施報告

1. 職員の教育訓練

<各種大会・研修会・研究会参加>

○衛生推進者講習会 山崎	5月18日	札幌市
○第20回北海道抑制廃止研究会 佐藤元・堀井	5月27日	札幌市
○メンタルヘルス講習会 高橋	6月1日	札幌市
○第46回全道救護施設職員研修会 石井園長・松浦・平山・栗生・福士・足立	6月21日～22日	帯広市
○社会福祉法人経営者セミナー 石井園長	7月7日	札幌市
○福祉専門職のためのキャリアアップ専門研修(チームリーダーコース) 廣川 工藤	7月21日～22日 10月22日	札幌市 札幌市
○総務担当者専門研修 山崎	8月5日	札幌市
○メンタルヘルス研修会 澤田石 馬場	8月9日～10日 11月15日～16日	札幌市 札幌市
○帯広市東明寮職員相互実習研修 原田・鈴木俊	8月17日～19日	帯広市
○第66回北海道福祉大会(北海道社会福祉協議会会長表彰) 盛	9月7日	札幌市
○介護職員専門研修Ⅱ 後藤	9月8日～9日	札幌市
○第40回全国救護施設研究協議大会 石井園長・盛・阿部・田村	9月28日～30日	青森県
○歌志内市親愛の家職員相互実習研修 嶋田・高橋	10月3日～5日	歌志内市
○全国救護施設福祉サービス研修 向後・太田弘	11月29日～30日	東京都
○法人役員・施設長専門研修 石井園長	12月9日	札幌市

2. 職員の配置状況

(29. 3. 31現在)

	施設 長	事務 員	主任 指導 員	指 導 員	寮 母	看 護 師	栄 養 士	調 理 員	介 助 員	医 師	そ の 他	計 (人)
定 員	1	2	1	0	17	1	1	4 (1)	1	(1)	0	28 (2)
現 員	1	2	1	0	17 (1)	2	1	4 (0)	1	(2)	0 (9)	29 (13)
過 不 足	0	0	0	0	0 (1)	1	0	0 (-1)	0	(1)	0 (9)	1 (10)

※ 医師の（）内は、内科1名、精神科1名の嘱託医師

※ 寮母の現員の（）の人数は契約介護職員1名

※ その他は、契約洗濯員2名、契約巡視員3名、契約調理補助員4名

3. 平成28年度 職員人事異動

(29. 3. 31現在)

氏 名	職 名	発 令 区 分			備 考
		就 任	退 任	異 動	
岡 野 真 樹	介 護 職 員	28. 8. 1			新 規 採 用
上 原 剛	介 護 職 員	28. 9. 1			新 規 採 用
条 田 利 恵	介 護 職 員		28. 9. 30		自 己 都 合 退 職
足 立 真 理 子	調 理 員		28. 12. 31		自 己 都 合 退 職
阿 部 健 一	調 理 員	29. 1. 1			新 規 採 用
堀 井 美 千 子	介 護 職 員			29. 3. 31	札 幌 市 あ け ぼ の 荘 へ

4. 年度の動き

要 項	年 月 日	記	事	
1. 監 査 等	28. 5. 11	札幌厚生会法人監事監査	石井園長他 3名	
	28. 7. 29	札幌厚生会法人監事監査	石井園長他 2名	
	28. 10. 26	札幌厚生会法人監事監査	石井園長他 2名	
	28. 11. 11	白石消防署立入検査	署員 2名来園	
	29. 2. 6	札幌厚生会法人監事監査	石井園長他 1名	
	29. 2. 8	札幌市保健福祉局監査指導課による法人指導監査	石井園長	
2. 札幌厚生会 理事会・評議員会等 施設長会議	28. 4. 12	札幌厚生会施設長会議	石井園長	
	28. 4. 22	札幌厚生会施設長会議	石井園長	
	28. 5. 20	札幌厚生会施設長会議	石井園長	
	28. 5. 26	札幌厚生会理事会・評議員会	石井園長	
	28. 6. 29	札幌厚生会施設長会議	石井園長	
	28. 7. 29	札幌厚生会施設長会議	石井園長	
	28. 9. 27	札幌厚生会施設長会議	石井園長	
	28. 11. 28	札幌厚生会理事会・評議員会	石井園長	
	28. 12. 14	札幌厚生会施設長会議	石井園長	
	28. 12. 16	札幌厚生会理事会・評議員会	石井園長	
	29. 2. 17	札幌厚生会施設長会議	石井園長	
	29. 2. 27	札幌厚生会理事会	石井園長	
	29. 3. 10	札幌厚生会評議員会選任解任委員会	石井園長	
	29. 3. 17	札幌厚生会施設長会議	石井園長	
29. 3. 28	札幌厚生会理事会・評議員会	石井園長		
3. 会 議 等 (1) 官 公 署 (2) 社 協 他 関係諸団体	28. 4. 15	札幌市保健福祉局保護指導課との施設長・事務長会議	石井園長他 1名	
	28. 4. 15	札幌市救護施設協議会総会	石井園長他 1名	
	28. 4. 26	北郷瑞穂福祉推進委員会	石井園長他 3名	
	28. 4. 27 ~ 28	全国救護施設協議会総会・施設長会議（東京都）	石井園長	
	28. 6. 22	北海道救護施設協議会役員会	石井園長	
	28. 7. 27	救護施設・相談担当合同会議（ホームレス対応打合せ等）	佐藤元・高橋	
	28. 8. 16	保護司研修	石井園長	
	28. 9. 12	保護司研修	石井園長	
	28. 9. 29	生活困窮者自立支援調整会議（JOIN）	佐藤元	
	28. 10. 2	北郷瑞穂福祉推進委員会総会	石井園長他 3名	
	28. 10. 21	保護司研修	石井園長	
	28. 11. 24	北白石地区福祉活動フォーラム	向後・高橋	
	28. 11. 30	保護司研修	石井園長	
	28. 12. 1	全国救護施設協議会第2回総会（東京都）	石井園長	
	29. 1. 23	北海道救護施設協議会総会	石井園長	
	(3) 部 内	28. 4. 8	処遇会議	
		28. 4. 15	処遇会議	

要 項	年 月 日	記	事
	28. 4. 22	処遇会議	
	28. 4. 30	定例職員会議 5月分	
	28. 5. 6	処遇会議	
	28. 5. 13	処遇会議	
	28. 5. 20	処遇会議	
	28. 5. 27	処遇会議	
	28. 5. 30	定例職員会議 6月分	
	28. 6. 3	処遇会議	
	28. 6. 10	処遇会議	
	28. 6. 17	処遇会議	
	28. 6. 30	定例職員会議 7月分	
	28. 7. 8	処遇会議	
	28. 7. 15	処遇会議	
	28. 7. 22	処遇会議	
	28. 7. 25	定例職員会議 8月分	
	28. 7. 29	処遇会議	
	28. 8. 12	処遇会議	
	28. 8. 29	定例職員会議 9月分	
	28. 9. 2	処遇会議	
	28. 9. 23	処遇会議	
	28. 9. 26	定例職員会議 10月分	
	28. 9. 30	処遇会議	
	28. 10. 7	処遇会議	
	28. 10. 14	処遇会議	
	28. 10. 21	処遇会議	
	28. 10. 28	処遇会議	
	28. 10. 31	定例職員会議 11月分	
	28. 11. 11	処遇会議	
	28. 11. 18	処遇会議	
	28. 11. 25	処遇会議	
	28. 11. 28	定例職員会議 12月分	
	28. 12. 2	処遇会議	
	28. 12. 9	処遇会議	
	28. 12. 16	処遇会議	
	28. 12. 29	定例職員会議 1月分	
	29. 1. 13	処遇会議	
	29. 1. 20	処遇会議	
	29. 1. 27	処遇会議	

要 項	年 月 日	記	事
	29. 1. 30	定例職員会議 2月分	
	29. 2. 17	処遇会議	
	29. 2. 24	処遇会議	
	29. 2. 27	定例職員会議 3月分	
	29. 3. 10	処遇会議	
	29. 3. 17	処遇会議	
	29. 3. 27	定例職員会議 4月分	
	29. 3. 31	処遇会議	
4. 研 修 説明会等 (教育訓練・上記記載以外)	28. 4. 12	北海道民間社会福祉事業職員共済会実行委員会	山崎
	28. 5. 17	社会福祉法改正による道老協セミナー	石井園長
	28. 6. 7	防火管理者保安研修	向後
	28. 6. 14	不在者投票説明会	山崎
	28. 6. 29	経理会計勉強会	山崎・松浦
	28. 7. 6	北海道救護施設研究セミナー研修委員会	松本・佐藤千
	28. 7. 29	北海道民間社会福祉事業職員共済会実行委員会	山崎
	28. 8. 29	社会福祉法人制度改革の施行に向けた説明会	石井園長
	28. 11. 18	北海道民間社会福祉事業職員共済会業務説明会	山崎
	28. 11. 21	社会福祉法人改正緊急経営セミナー	石井園長
	28. 11. 22	年末調整講習会（プロテック）	松浦
	28. 11. 28	施設内研修（薬の飲み方について）	13名参加
	28. 11. 29	年末調整講習会（税務署）	山崎
	28. 12. 12	施設内研修（普通救命講習会）	10名参加
	29. 1. 26	施設内研修（認知症サポーター講習会）	25名参加
	29. 3. 4	職場見学会（事業主行動計画推進事業）	職員の子供7名来園
	29. 3. 14	北海道民間社会福祉事業職員共済会実行委員会	山崎
	29. 3. 16	水害・土砂災害管理者向け説明会	向後
	29. 3. 27	施設内研修（防犯について）	18名参加
5. 来 訪 (1) 視察・見学 ボランティア	28. 6. 30~7. 2	歌志内市親愛の家職員相互実習研修（受け入れ）	2名
	28. 7. 13~15	帯広市東明寮職員相互実習研修（受け入れ）	1名
	28. 8. 31	白石区民生委員施設見学	35名
	28. 8. 13~31	道都大学実習生	1名
	28. 11. 5	第62回開設記念行事来客者	来客者124名+ボランティア24名
(2) 実態調査	28. 4. 26	千歳市 三上係長・小林主任・海谷主事	(対象者 2名)
	28. 5. 17	白石区 盛 主事	(対象者 5名)
	28. 6. 7	白石区 盛 主事	(対象者 5名)
	28. 6. 10	旭川市 中井主事	(対象者 3名)
	28. 7. 6	夕張市 平塚主幹	(対象者 2名)
	28. 7. 20	名寄市 本郷主事・湯川主事	(対象者 9名)

要 項	年 月 日	記	事
	28. 8. 17	岩見沢市 佐野 主事	(対象者 3名)
	28. 8. 23	石狩総合振興局 渋谷 調査員	(対象者 1名)
	28. 8. 25	釧路総合振興局 曾田 主事	(対象者 1名)
	28. 9. 29	白石区 盛 主事	(対象者 6名)
	28. 9. 30	オホーツク総合振興局 川上主事・福澤主事	(対象者 2名)
	28. 10. 6	北見市 山本 主事・福田 主事	(対象者 2名)
	28. 10. 6	千歳市 海谷 主事	(対象者 1名)
	28. 10. 12	紋別市 舟橋 主任・長屋 主事	(対象者 1名)
	28. 10. 27	後志総合振興局 本間 主事	(対象者 1名)
	28. 11. 8	手稲区 宮本 主事	(対象者 1名)
	28. 11. 9	稚内市 飯田 主事・田中 主事	(対象者 1名)
	28. 11. 10	滝川市 高橋 主事・谷内 主事	(対象者 1名)
	28. 11. 16	石狩市 大川 主査・宮森 主事	(対象者 1名)
	28. 11. 16	留萌振興局 岡元 係長・細野 主事	(対象者 1名)
	28. 11. 24	後志総合振興局 小林 主事	(対象者 2名)
	28. 11. 29	釧路市 八幡 専門員	(対象者 1名)
	28. 12. 21	三笠市 戸松主事・坂上主事・千葉主事	(対象者 4名)
	29. 1. 25	胆振総合振興局 野末 主事	(対象者 2名)
	29. 2. 27	三笠市 戸松 主事	(対象者 1名)
	29. 3. 28	白石区 盛 主事	(対象者 1名)
6. 儀 礼	28. 5. 1	第63回 静心寮開設記念	出勤職員全員訪問
(1) 表 敬	28. 5. 10	第54回 札幌市あけぼの荘開設記念	出勤職員全員訪問
(2) 慰 問	28. 5. 11	第97回 札幌明啓院創立記念	職員4名訪問
	28. 9. 4	第24回北翔祭(札幌あゆみの園)	出勤介護職員
	28. 9. 11	第17回光友園まつり	出勤介護職員
	28. 12. 12	縁起芸能 万福流 ひよっとこ踊り	演芸・民舞
7. そ の 他	28. 6. 9	深夜勤務者検診	19名
(1) 受 章	28. 7. 6	第24回参議院議員選挙 不在者投票	26名
(2) そ の 他	28. 8. 8	夜間想定検証制度	
	28. 8. 19	慰霊祭(物故者法要)	
	28. 9	腰痛検診	8名
	28. 10. 15	生活習慣病予防健診	全職員
	28. 11. 12	札幌救護施設協議会スポレクボウリング大会・懇親会	17名
	28. 11~12	マンモグラフィ検診・子宮癌検診	17名
	28. 12. 16	札幌厚生会むつみ会総会	28名
	29. 1. 7	親睦会新年交礼会	29名
	28.8.23 ~ 29.2.22	生活困窮者就労訓練事業実施	訓練対象者1名 38回実施
	28. 12 ~ 29. 3	法人社会貢献事業(福祉除雪サービス)	7回実施

生活相談

1. 生活相談

当施設を利用する利用者さんは、生活上の問題や様々な疾病を患った方が利用され、施設生活をする中で、健康管理や自立に向けた支援を受けながら生活されてきました。

施設としては、利用者さんのライフスタイルを考え希望を取り入れた個別支援計画の作成を行い、楽しみや目標を持って生活が送れるように努めてきました。

特に、自立された利用者さんには、目標及びニーズを元に個別支援計画を作成するにあたり、積極的な意見を頂けるよう、担当職員とのコミュニケーションがより密に図れるように対話を重視した相談しやすい環境作りに取り組みました。

利用者さんには、共同生活を送る中で様々な役割分担の中、施設生活を主体的に送り責任感を持って取り組めるよう支援出来たと感じます。

利用者さんが特に楽しみにしているレクリエーションでは、利用者さんの身体状況等を踏まえ、内容を検討・改善を行い生活意欲が向上するような取り組みをおこなってきました。また、売店は利用者さんが一番に楽しみにしている行事であるため、大手の移動売店を導入し買物をする機会を増やすことで、生活意欲の助長に繋がったと感じます。

救護施設としての役割が多く求められる中、当施設としても積極的な受け入れをおこない、利用者さんが希望する自立生活に向け各関係機関との連携を図り、次の生活の場へ移行するなど対応してきました。現在も自立を目指す方への訓練として、「居宅生活訓練事業」を行う中で、必要なスキルを習得するための訓練を継続しています。

緊急的な一時入所での利用者さんの依頼も多くなり、環境の変化は大きな身体的・精神的負担になるため、安心して生活できるような対応にも心がけ、今後も継続していきたいと思っています。

2. 居宅生活訓練事業

施設からの自立を目指す利用者さんには、「居宅生活訓練事業」を通して、より地域社会に近い形で訓練をおこない、現在どのような問題があるのかを把握することで、自立に向けた課題を職員と確認し、課題となる問題を克服するよう生活に必要なスキルの向上に努めてきました。

今年度は一名の利用者さんが、就労に結びつき自立生活への準備をしています。

3. 個別支援計画

個別支援計画では、利用者さんとの対話を重点に置き、面接方式で支援計画の作成を行ってきました。面接方式にすることで、今まで以上に利用者さんとの関わりが増え、意見を引き出すことが出来、利用者さんの実態をより把握できたと感じています。

重度障がいのある利用者さんに関しては、施設サービスの充実を図ることを中心にケアプラン方式での支援計画の作成から支援をおこなってきました。

4. 緊急一時入所者の対応

今年度の利用傾向としては若年層の依頼が多く、その背景として軽度の障がいを患った方が利用されました。当施設としては、関係機関と連携を図り、その人に合った生活の場を相談し、自立した生活に繋げていくことが出来たと思います。

5. 地域及び関係機関との関わり

夏祭りや開設記念を通じ、町内会ボランティアや学生ボランティアに協力してもらい、施設利用者さんとの交流を図ることが出来ました。

6. 家族との交流

家族との交流については、広報誌「みちしば」の送付の他、夏祭りや開設記念行事の案内、日常の中での電話連絡やハガキ・手紙の送付等にて交流を図ってきました。

また、利用者さんから、お墓参りや親族へ面会等の希望もあり、ご家族の協力得ながら交流を図ることも出来ました。

7. 作業

今年度の作業は、従来の箸作業に加え、新箸作業の三つ折加工箸作業の 2 種類を中心に行ってきました。新しい作業の回数は昨年より少なくなりましたが、新しく参加される人が多少増えてきているので、今後に期待が持てるようになりました。今後も作業の重要性を理解してもらい、しっかりとした結果を残していきたいと思えます。

平成 28 年度作業実績

・総収入金額 179,425 円（平成 27 年度 245,025 円）

（内、旧作業分：169,425 円、新作業：10,000 円）

・一人当たりの収入金額（平均）

旧作業分 3,550 円（参加者 48 名）

新作業分 250 円（参加者 39 名）

今年度初めには天候に恵まれず、寒暖差の激しい日が続いたため序盤は作物の成長にばらつきがあり、収穫できないのではないかと不安がありましたが、その後、天候も安定したことで利用者さんが食べられる分の収穫ができ、食事に取り入れ提供していくことができました。特にピーマンは豊作であり食べきれない程立派なものが収穫できました。畑作業を行ってくれた利用者さんも暑い中一生懸命手入れ等をしてくれた結果だと思えます。来年度も引き続き、事前にしっかりと準備をして畑作業に取り組み、利用者さんの楽しみとなるような取り組みをしていきたいと考えております。

平成 28 年度収穫

ぶどう	小松菜	ピーマン	トマト	枝豆
55.2kg	38.1kg	35.8kg	53.3kg	30.7kg

8. リハビリ訓練

今年度も昨年度同様の回数をおこなうことが出来ました。器具の使い方や使用する順序を工夫しながら、限られた時間内で上手く実施することが出来ました。

年間実施回数 64 回 平均参加人数 15 名

柔道整復師の専門的な施術が必要な方に週 1 回ですが平成 23 年より行っており、今後も継続していきたいと思えます。

柔道整復師の専門的な施術が必要な方に週1回ですが平成23年より行っており、今後も継続していきたいと思えます。

年間実施回数 48回 平均参加人数 9.8名

9. 防災体制

災害はいつ起きるか分からないことから、常日頃から迅速な対応ができるよう訓練内容を再度確認し実践してきました。

火災に対しての訓練では、出火が考えられるあらゆる場所を想定することで、安全に避難ができる体制を整え、訓練を行ってきました。

地震に対しての訓練では、利用者さんが不安にならないよう職員が冷静な判断と対応で安全に避難ができるよう努めてきました。

近年、水害による被害が全国で多く報告され、当施設としても河川が近いことから今年度より水害による避難訓練を取り入れ実践を行っています。

利用者さんの身体状況から避難所への避難が難しいことを考え、垂直避難の方法で避難を実施しました。様々な課題が浮き彫りとなり、施設の立地条件等も含め細かな検討が必要と感じました。

今後も、さらに避難の困難さが考えられることから、より良い避難体制と利用者さんが不安にならないような訓練を考え、実践して行きます。

訓練実施状況

実施月日	訓練内容	備考
4月6日～18日	教育訓練	全職員に実施（職員）
5月19日	総合訓練	日中想定・消火訓練含む
6月13日	避難訓練	日中想定・スロープ訓練
7月25日	避難訓練	夜間想定
8月8日	避難訓練	検証訓練
9月12日	防災訓練	地震想定
10月26日	避難訓練	水害想定・非常食

10. クラブ活動

クラブ担当者にて年間計画を作成し、参加者が活動内容を把握できるようにしました。
クラブ活動を通じ、生活の中で楽しみを見出し余暇活動へ繋がるように努めてきました。
また、生花クラブと音楽療法では講師を招き、より専門的な活動を継続しておこなってきました。
〔別記3〕

11. 教養娯楽

高齢化が進む中で、全ての利用者さんが参加できるように、選択制のレクリエーションを増やし、自分に合ったレクリエーションに参加できるように努めてきました。

また、利用者さんでプランを立ておこなう、マイプラン旅行もおこない日常生活の助長に繋がったと感じています。

※各棟グループレク実施状況は〔別記2〕のとおりであります。

12. 給食

生命保持、健康維持を目的として栄養を考慮した食品、更に、安全でニーズにあった食事を提供します。
生活習慣によって引き起こされる疾病予防や高齢に伴う障害を軽減し、おだやかな生活を過ごして頂ける様に健康作りを行います。

献立作成は、食事摂取基準・給与食糧構成を基に栄養バランス、消化吸収、バラエティに富んだメニューを考慮し、1日30食品摂取を目標とし、旬の食材等も取り入れながら、また郷土色豊かな食事、季節を味わって頂くなど嗜好面も考え作成します。給食会議、全体集会等の意見を反映させます。また、より家庭的雰囲気近くよう、行事食及び日常の食事において、お楽しみ献立や複数献立を実施しています。

調理業務は適温適時給食、食品鮮度の確保、薄味調理、盛り付けの工夫への努力を行い、月1度の検便の実施により食品事故を起こさないための定期検査、保存食確保等を実施します。

また、調理従業者の疾態（治療食）教育、衛生教育指導を始め各研修への参加を促進します。

疾病や障害等個々の状態にあった食事の提供で給食の質の向上を図っていきます。

本年度の基準は下記の通りとします。

1日当たり給食費 880円

エネルギー摂取量 1,750kcal

・蛋白質	65.0g	・ビタミンA	750μg
・脂 肪	45.0g	・ビタミンB ₁	1.40mg
・カルシウム	650mg	・ビタミンB ₂	1.60mg
・鉄 分	8.0mg	・ビタミンC	100mg

13. 嗜好品

日々の給食で補いきれない嗜好品を重視します。加齢に伴い疾病の誘因とならない様、適当量の支給とします。利用者の高齢化、疾病の進行状況にあった代替品、個別対応品の導入も行っていきます。

支給日 月・水・土曜日

14. 健康管理

利用者さんの高齢化に伴い、各種健診、日常生活の中で利用者さんの変化に気づき、早期対応・治療が行えました。今年度もラジオ体操・散歩の積極的参加を促してきました。インフルエンザ、ノロウイルス、感染症に関しては、インフルエンザワクチン、肺炎球菌ワクチン接種を行い、1日4回の施設内消毒、うがい、手洗いの励行を徹底してきました。今年度インフルエンザ、ノロウイルス罹患者はいませんでした。通年を通して部屋の換気の習慣化に努めていきたいと考えています。

月別患者数

科別	月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
		内 科	通院者数	94	83	94	74	94	70	92	88	84	71	
	延べ人数	188	190	186	173	161	188	185	170	172	188	151	140	2,092
精 神 科	通院者数	51	46	54	44	48	42	50	44	46	40	41	40	546
	延べ人数	72	63	71	92	96	90	89	82	84	78	65	60	942
神経内科	通院者数	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1
	延べ人数	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1
皮 膚 科	通院者数	25	25	24	35	48	25	26	20	30	22	27	21	328
	延べ人数	48	48	47	65	50	48	49	46	58	41	50	44	594
外 科	通院者数	2	2	1	1	1	2	2	1	1	3	1	1	18
	延べ人数	2	2	1	2	2	2	2	1	1	4	1	1	21
整形外科	通院者数	20	19	22	21	24	23	20	24	17	16	18	19	243
	延べ人数	26	23	27	21	30	30	26	30	20	19	23	22	297
歯 科	通院者数	9	9	8	8	7	7	5	5	4	6	4	11	83
	延べ人数	26	36	23	22	18	25	11	8	10	13	9	23	224
脳 外 科	通院者数	2	9	1	10	6	8	4	9	4	6	8	3	70
	延べ人数	2	11	1	10	6	8	4	10	4	6	8	3	73
耳 鼻 科	通院者数	3	2	5	3	3	2	1	10	3	6	6	6	50
	延べ人数	4	3	8	5	6	2	2	12	4	9	6	7	68
眼 科	通院者数	12	5	4	7	14	11	6	8	15	10	10	8	110
	延べ人数	39	25	28	33	33	23	6	9	17	28	41	15	297
循 環 器	通院者数	1	1	1	1	—	2	1	2	2	1	1	1	14
	延べ人数	1	1	1	1	—	2	1	3	2	1	1	1	15
泌尿器科	通院者数	9	11	10	13	13	13	13	13	15	11	14	14	149
	延べ人数	12	11	10	13	13	13	13	17	19	17	16	16	170
外 傷	通院者数	—	1	—	1	1	1	—	1	—	2	2	1	10
	延べ人数	—	1	—	1	1	2	—	1	—	2	2	1	11
呼吸器科	通院者数	—	1	1	—	—	1	—	1	—	4	—	1	9
	延べ人数	—	1	1	—	—	1	—	2	—	4	—	1	10
乳腺外来	通院者数	—	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	2
	延べ人数	—	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	2
麻 酔 科	通院者数	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	2
	延べ人数	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	2
産科婦人科	通院者数	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	2
	延べ人数	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	2

主な年間行事実施状況（全体レク）

月 日	行 事 名	参 加 人 数	内 容
4.21	第36回 カラオケ交流会 (会場：札幌市あけぼの荘) (司会：札幌市あけぼの荘)	出場者 6名	札幌市あけぼの荘の集会室に救護3施設の利用者が集まりました。各施設6名が出場し、自慢の歌を披露しました。最後は全員で合唱して閉会となり、久しぶりに仲間との再開を楽しむことができました。
7.2	白石福祉園夏祭り	全 員	福祉園の駐車場にての夏祭りでしたが、雨により開催が出来なかったため、園内で行いました。ロイズのチョコが当たる抽選会や、的当てなどを行いました。 また、地域の高校生とゲームを楽しむコーナーを作り、大いに盛り上がりました。
7.20 21	一泊旅行 定山溪 ホテル・ミリオーネ	利用者15名 職員 7名	ホテルへ到着し、お部屋でゆっくりする人、お風呂に入る人、買物する人と個々に自由な時間を過ごしていました。 夕食はお座敷で豪華なお膳を美味しく頂き、良い気分転換になりました。またカラオケで盛り上がり、良い思い出になりました。
7.15 16	一泊旅行 函館 平成館	利用者 4名 職員 2名	利用者さんの希望や意見を取り入れたマイプラン旅行を実施しました。 自分の行きたいところなどが盛り込まれた旅行に皆さん満足されていました。バスではなく園ワゴンでの移動も良い思い出になりました。
8.10	合同盆踊り 合同花火大会	全 員	福祉園と静心寮の間にやぐらを立て、それを中心にみんなで盆踊りを踊り、仮装する方、踊りを楽しみました。 その後、静心寮と合同で花火大会を行い、夏の夜風に当たりながら変わりゆく季節を感じました。
9.7	第16回 パークゴルフ大会 さとらんど	利用者 9名 職員 3名	4つの救護施設でさとらんどに集まり、パークゴルフの腕を競い合いました。惜しくも優勝は逃しましたが、来年こそはと言い合いながら帰りました。
9.8	遠足 ゆにガーデン	利用者35名 職員 9名	四季を感じるために、由仁町にあるユニガーデンに遠足へ行きました。 おいしいお弁当をいただき、園内巡回バスへ乗り、花や秋の風を感じる事が出来ました。
9.14 15	一泊旅行 登別 グランドホテル	利用者 8名 職員 4名	ホテルへ到着し、お部屋でゆっくりする人、お風呂に入る人、買物する人と個々に自由な時間を過ごしていました。夕食は大きな会場で豪華なバイキングを美味しく頂き、良い気分転換になりました。次の日には登別マリンパークニクスへ見学し、魚などをたくさん見て帰ってきました。
9.16	敬老会	全 員	70歳以上の方のお祝いで、今年は1名の方が新たに仲間入りをし、56名の方がお祝いを受けました。園長からお祝いの言葉を貰い、記念品の贈呈があり、敬老者の代表者からお礼の言葉がありました。今年は職員有志の映画もあり、大変喜ばれていました。

10.20	日帰りレク (A 班) (シャトレーズ)	利用者 19名 職員 8名	今年度より、宿泊が難しい方を対象に、日帰りで食事と買物を楽しめるレクを実施しました。 普段とは違う雰囲気ですり、カラオケを楽しみながら、お土産も購入し、短い時間でしたが楽しまれた声がかれました。
10.24	日帰りレク (B 班) (シャトレーズ)	利用者 12名 職員 6名	宿泊が難しい方を対象に実施しました。普段とは違う雰囲気ですり、カラオケを楽しみながら、お土産も購入し、短い時間でしたが楽しまれた声がかれました。
11.5	第 62 回開設記念行事	全 員	多くの訪問客が訪れ、大いににぎわいました。焼き鳥、飲物、喫茶コーナー、お寿司コーナーがあり、多くの訪問客や利用者が開設記念を祝っていました。
11.10	ドライブレク (A 班)	利用者 2名 職員 2名	今年度より、宿泊も日帰りも参加が難しい方を対象に、近くの道の駅などに季節を感じながら、軽食を楽しめるレクを実施しました。 普段とは違う雰囲気と場所を堪能し、いつもと違う空域を吸って楽しまれていました。
11.17	ドライブレク (B 班)	利用者 3名 職員 2名	宿泊も日帰りも参加が難しい方を対象に、近くの道の駅などに季節を感じながら、軽食を楽しめるレクを実施しました。 普段とは違う雰囲気と場所を堪能し、いつもと違う空域を吸って楽しまれていました。
12.8	もちつき	全 員	食堂にて園生の手でもちつきを行いました。交代でもちをつき、暮れの季節感を味わいました。
12.12	園内園芸鑑賞会	全 員	今年度は「縁起芸能 万福ひよっこ踊り」の皆さんに慰問していただき、ひよっこ踊りを披露し、皆さん楽しまれてみていました。
12.22	クリスマス会	全 員	例年通り、カラオケ大会、職員によるゲームと楽器演奏、サンタさんによるプレゼント、聖火隊による行進、クリスマスの食事と年に一度のお祝いを楽しみました。
1.12	新年会	全 員	カラオケ大会を行い、正月のお祝いをしながら、お互いに今年もよろしくという気持ちで一緒に歌を歌ったりして挨拶を交わしました。
1.19	合同カルタ大会	全 員	風邪引きが多いため中止となりましたが、福祉園内だけでカルタ大会を行いました。
2.3	節分	全 員	今年も集会室で年男・年女の方が元気良く豆撒きを行いました。 豆まき終了後には、鬼がでてきましたが、みなさんの力でボールを力いっぱい投げ、厄を追い払いました。
2.16	園内ゲーム大会	全 員	園内のゲーム大会では「空気砲コーナー」「ゲームコーナー」の2つを行い、ゲーム終了後には、食堂で甘酒を味わいました。 夕食には職員有志で作った雪だるまを見ながら、楽しめました。

3.9	日帰り外食 A 班 (シャトレーズ)	利用者 16 名 職員 7 名	3 月恒例の食事レクに行ってきました。今回はバイキング形式で、色々なものを楽しみながら食事されていました。
3.16	日帰り外食 B 班 (シャトレーズ)	利用者 19 名 職員 8 名	2 回目の食事レクに行ってきました。今回はバイキング形式で、色々なものを楽しみながら食事されていました。
3.31	日帰り外食 C 班 (シャトレーズ)	利用者 20 名 職員 8 名	今回は会食形式で、普段とは違う雰囲気の中緊張したのか、最初は静かに食事をされていましたが、次第に雰囲気にも慣れ段々と会話が弾み良い気分転換になりました。

希望レク実施状況

月 日	行 事 名	参 加 人 員	内 容
4.11	外食 とんでん森林公園店前	利用者 6名 職 員 3名	外食で和食を希望された方で、自分でメニューから好きな物を選び、楽しむことができました。
4.14	ショッピング（昼食なし） 厚別西友	利用者 5名 職 員 3名	ショッピングで昼食をせず、買物のみの厚別西友を希望された方で、自分の好きな物などを買っており、楽しむことができました。
5.7	外食 とんでん森林公園店前	利用者 6名 職 員 4名	外食で和食を希望された方で、自分でメニューから好きな物を選び、楽しむことができました。
5.12	ショッピング 厚別西友	利用者 7名 職 員 4名	ショッピングで厚別西友を希望された方で、自分の好きな物などを買ったり、昼食で好きな物を食べたりして、楽しむことができました。
5.23	ショッピング 厚別西友	利用者 9名 職 員 5名	ショッピングで厚別西友を希望された方で、自分の好きな物などを買ったり、昼食で好きな物を食べたりして、楽しむことができました。
6.2	外食 ラパウザ厚別通店	利用者 3名 職 員 1名	外食で洋食を希望された方で、自分でメニューから好きな物を選び、楽しむことができました。
6.6	出前 福祉園内	利用者 10名	外出が難しい方を対象に施設内で出前を注文し、普段とは違う雰囲気の食事をとってもらいました。
6.16	外食 ラパウザ厚別通店	利用者 9名 職 員 5名	外食で洋食を希望された方で、自分でメニューから好きな物を選び、楽しむことができました。
6.27	ショッピング 厚別西友	利用者 10名 職 員 5名	ショッピングで厚別西友を希望された方で、自分の好きな物などを買ったり、昼食で好きな物を食べたりして、楽しむことができました。
7.11	ショッピング ジャスコ東苗穂	利用者 7名 職 員 4名	ショッピングでジャスコを希望された方で、自分の好きな物などを買ったり、昼食で好きな物を食べたりして、楽しむことができました。
7.14	ショッピング ジャスコ東苗穂	利用者 10名 職 員 5名	ショッピングでジャスコを希望された方で、自分の好きな物などを買ったり、昼食で好きな物を食べたりして、楽しむことができました。
8.15	外食 すしてん	利用者 11名 職 員 4名	寿司を希望された方で、自分でメニューから好きな物を選び楽しむことができました。
8.18	外食 すしてん	利用者 9名 職 員 4名	寿司を希望された方で、自分でメニューから好きな物を選び楽しむことができました。
8.22	外食 すしてん	利用者 9名 職 員 4名	寿司を希望された方で、自分でメニューから好きな物を選び楽しむことができました。

9.3	バイキング ロイン亭	利用者 1 2名 職員 5名	バイキングを希望された方で、自分でたくさんあるメニューの中から好きな物を選び楽しむことができました。
9.5	バイキング ロイン亭	利用者 7名 職員 3名	バイキングを希望された方で、自分でたくさんあるメニューの中から好きな物を選び楽しむことができました。
10.6	ショッピング アリオ札幌	利用者 9名 職員 3名	ショッピングでアリオ札幌を希望された方で、自分の好きな物などを買ったり、昼食で好きな物を食べたりして、楽しむことができました。
10.13	ショッピング アリオ札幌	利用者 4名 職員 2名	ショッピングでアリオ札幌を希望された方で、自分の好きな物などを買ったり、昼食で好きな物を食べたりして、楽しむことができました。
11.14	ショッピング（昼食なし） 厚別西友	利用者 5名 職員 3名	ショッピングで昼食をせず、買物のみの厚別西友を希望された方で、自分の好きな物などを買っており、楽しむことができました。
11.21	お茶会 ロイヤルホスト	利用者 2名 職員 2名	お茶会を希望された方で、パフェなどを食べて楽しむことができました。
12.5	出前 福祉園内	利用者 7名	外出が難しい方を対象に施設内で出前を注文し、普段とは違う雰囲気の食事をとってもらいました。
12.12	カラオケ 歌屋北郷店	利用者 2名 職員 2名	カラオケを希望された方で、昼食を取ながら好きな歌を歌って楽しむことができました。

〔別記3〕

ク ラ ブ の 実 施 状 況

クラブ	参加人員		実 施 経 過 と 効 果
	使用者	職 員	
習 字	15	3	一年間を通していつもと同じメンバーの中、たまに習字クラブでない方にも声を掛ける参加されることもあったので、今後もこだわらず声掛けを行っていきます。正月の書き初めでは、今年、一年の抱負みたいなことを書いていただき、生活に生かしていただいています。
手 芸	7	3	個々のペースに合わせ、楽しみながら編み物や刺し子を行いました。 一人ではなかなかビーズ遊びができない方も、職員と一緒にやることで遊ぶことができたとの声もありましたので、来年度も引き続き声を掛けながら実施していきたいと思います。
音 楽	29	4	多くの方が音楽を通じて楽しめるように、主に音楽のDVD鑑賞をおこないました。誰もが気楽に参加して楽しめるクラブになっていると思います。継続的に、二ヶ月に一回音楽療法の講師を招いて、音楽を用いての日常の楽しみが持てるように取り組みました。
生 花	6	3	好きな花器を自分で選んで頂き、くじ引きで花を選び、自由に生けてもらい外部の先生のアドバイスを頂きました。また生けた花は最後までお世話するように話をし、忘れてしまう方もいましたが、職員が声を掛けながら、それぞれ責任を持ってお世話をしていただきました。 先生からの提案で、展示会を観覧することで刺激になり、創作意欲に繋がるのではないかとこのことで、来年度の計画に盛り込めるよう検討したいと思います。
自 由	20	4	今年度は四季折々のイベントに合わせてクラブを実施しました。 こいのぼりの作成やスイカ割、ペタンクなどを行い、参加者を限定せず皆さんと取り組みました。
四つ葉の集い	2	2	各施設の参加者の希望を聞きながら実施しました。公園などの公共施設や、施設屋外での活動と、他施設の情報交換や交流を通じて視力のハンデがある人の励みの場となるよう取り組みました。

[別記4]

利用者の給食状況調

平成28年度
入園者 平均 91.6名(緊急、検食、保存食含)

区分 月別	エネルギー	蛋白質		脂肪	1人1日当り 平均価格 (消費税含む) (円)
		蛋白質(g)	動物蛋白比(%)	エネルギー比(%)	
4	1,818	69.5	49.2	24.6	830
5	1,816	68.6	49.9	23.4	861
6	1,817	66.7	46.5	23.5	810
7	1,834	69.8	48.4	23.2	857
8	1,837	69.9	47.5	23.5	809
9	1,848	71.5	48.8	24.4	917
10	1,843	71.2	48.3	23.2	890
11	1,848	71.8	48.2	23.1	940
12	1,834	71.3	48.1	23.4	887
1	1,820	69.5	49.5	23	919
2	1,840	71.1	48.7	23.9	868
3	1,852	73.2	49.5	23.6	1,075
平均 (1ヶ月)	1,834	70.3	48.6	23.6	889
基準値	1,750	64.0	40~50	15~25	880

[別記5]

主 な 実 施 事 項

年 月	実 施 機 関	実 施 内 容	備 考
28.4	当 園	定期健診（利用者全員） 血圧・体重測定・身長	血圧高めにて毎日1人測定 毎月曜日1名（血圧） 毎火曜日4名 毎水曜日3名 3名毎金曜日（血圧） 体重減にて普通盛1名・体重減にてエンシュアで対応1名 体重増にておやつ制限・おかゆで対応1名
28.4	対 癌 協 会	胃・大腸癌検診 男子：28名 女子：33名	全員異常なし。
28.6	広 川 内 科 ク リ ニ ッ ク	腹部エコー検査 男子：42名 女子：48名	12名 腎のう胞→経過観察 8名 胆石→経過観察 1名 肝内石灰化→経過観察 2名 肝脂肪→経過観察 1名 水腎症→経過観察 1名 肝血管腫→経過観察 5名 肝のう胞→経過観察
28.6	白 石 中 央 病 院	乳癌検診：34名	34名 異常なし。
	対 癌 協 会	乳癌検診本年度施行せず。 子宮癌検診本年度施行せず。	
28.7	結 核 予 防 会	胸部X-P（間接撮影） 男子：35名 女子：38名	・13名 要精検施行（広川内科クリニック） 再検査の結果→11名異常なし・1名精神科入院中 ・1名右全肺野精検との事。再検施行（センチュリー病院） 去年と比べ胸水減っている、悪いものでない。
28.10	当 園	定期健診（利用者全員） 血圧・体重測定	血圧測定（月曜日3名火曜日2名水曜日4名） 金曜日2名・2名（第2・4）血圧毎日2名 低体重にて体重測定開始2名・体重測定（毎日） 体重増にて体重測定6名（水曜日）
28.11	当 園	インフルエンザ予防接種	罹患者なし。
29.2	広 川 内 科 ク リ ニ ッ ク	肺炎球菌ワクチン接種 男子：2名 女子：5名	

利用者の状況(措置人員)

(H29. 3. 31 現在)

定 員	現 在 員			
	男 性	女 性	計	充 足 率
100 人	47 人	51 人	98 人	98%

月別人員状況(平成 28 年度)

月 別 区 分		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
		月初日人員	94	97	96	98	96	96	95	97	95	96	95	97
入 所	2	2※	1※	2	1		1	1	2	1	3		16	
自 己 退 所													0	
居 宅 保 護		1				1							2	
長期入院による退所				2		1	1	2	1	1			8	
他 施 設 異 動													0	
死 亡		1	1										2	
一時保護	入所	0	1	2	2	2	2	3	1	3	0	0	1	17
	退所	0	2	1	3	3	1	2	2	2	2	0	0	18
月末現在員	96	96	97	96	96	95	96	94	96	94	97	98	年間平均 95.9	

※は緊急入所からの正式入所

在所期間の状況

(H29. 3. 31 現在)

期 間 性 別	1 年	1 年	3 年	5 年	10 年	15 年	20 年	計	平均在所 期 間
	未 満	以 上 3 年 未 満	以 上 5 年 未 満	以 上 10 年 未 満	以 上 15 年 未 満	以 上 20 年 未 満	以 上		
男性	12	2	6	10	4	4	9	47	11 年 7 カ月
女性	5	3	1	6	4	4	28	51	27 年 9 カ月
計 (人)	17	5	7	16	8	8	37	98	20 年 1 カ月
割合 (%)	17.3	5.1	7.1	16.3	8.2	8.2	37.8		小数点第二位を 四捨五入

利用者年齢状況

(H29. 3. 31 現在)

年 齢 性 別	30 歳 未 満	30 歳 以 上 40 歳 未 満	40 歳 以 上 50 歳 未 満	50 歳 以 上 60 歳 未 満	60 歳 以 上 65 歳 未 満	65 歳 以 上 70 歳 未 満	70 歳 以 上 75 歳 未 満	75 歳 以 上	計	最高	最低	平均 年 齢
	男性	1	0	3	9	8	9	5	12	47	88 歳	27 歳
女性	2	0	1	2	1	6	4	35	51	95 歳	51 歳	75.9 歳
計	3	0	4	11	9	15	9	47	98	総平均 年 齢		71.4 歳
割合(%)	3.1	0	4.1	11.2	9.2	15.3	9.2	48.0				

障がい・男女程度別調査

(H29. 3. 31 現在)

障がい別	程 度	男 性 (人)	女 性 (人)	計 (人)
身 体 障 が い	重 度	0	1	1
	中 度	4	2	6
	軽 度	0	0	0
知 的 障 が い	重 度	3	10	13
	中 度	4	5	8
	軽 度	1	1	2
重 複 障 が い	重 度	2	11	13
	中 度	7	4	11
	軽 度	1	1	2
精 神 障 が い	重 度	2	4	6
	中 度	9	6	15
	軽 度	4	2	6
そ の 他	中 度	3	0	3
	軽 度	7	4	11
合 計 (人)		47	51	98

※ 従来の合併障がいという分類を（精神障がいの重複を含め）重複障がいとする。

（重度障がい 33 名、中度障がい 44 名、軽度障がい 21 名）

（身体障がい 7 名、知的障がい 24 名、重複障がい 26 名、精神障がい 27 名、その他 14 名）

障がい別調査

(H29. 3. 31 現在)

病 名 性 別	身 体 障 が い		知 的 障 が い	精 神 障 が い	重 複	そ の 他	計 (人)
	視 覚	肢 体 不 自 由					
男性	2	2	8	15	15	10	47
女性	1	2	16	12	12	4	51
計 (人)	3	4	24	27	27	14	98
割合(%)	3.1	4.1	24.5	27.6	27.6	14.3	

障がい者手帳保持者の状況

(H29. 3. 31 現在)

身体障がい者手帳	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計 15名
	5	4	2	2	0	2	
療育手帳	A 7		B 11		B̄ 1		計 19名
精神障がい者保健福祉手帳	1級 8		2級 16		3級 2		計 26名

年金の受給状況

(H29. 3. 31 現在)

種別	障がい基礎年金	老齢基礎年金	障がい厚生年金	老齢厚生年金	基礎厚生年金	企業年金	その他	計
人員	45	5	0	9	9	6	2	76

利用者の親族等の状況

(H29. 3. 31 現在)

1	2	3	4	5	6	7	8	計
配偶者あり	親あり	子供養子を含むあり	兄弟姉妹あり	1～4以外の親族あり	知人のみ	身寄りなし	不明	(人)
2	7	19	75	16	3	8	0	130

出身世帯との連携状況

(平成 28 年度)

項目	回数					計 (人)
	年 0 回	年 1 回	年 2 回 ～ 5 回	年 6 回 ～ 11 回	年 12 回 以 上	
出身世帯の面会状況	71	15	9	3	0	98
出身世帯への状況報告	58	2	37	1	0	98
出身世帯からの通信	58	13	5	0	0	98
外泊の状況	96	0	1	1	0	98

疾病別調査（重複含む）

（H28.4.1～H29.3.31）

内 科	人数	精 神 科	人数	そ の 他	人数
高 血 圧 + そ の 他	3 1	統 合 失 調 症	1 3	皮 膚 科	4 6
糖 尿 病 + そ の 他	1 4	興 奮 性 知 的	3	眼 科 (白 内 障 含 む)	4 4
消 化 器 疾 患	4 8	て ん かん	7	泌 尿 器 科	1 2
心 疾 患	8	知 的 障 が い	4 0	外 科 及 び 整 形	2 4
高 脂 血 症	2 5	認 知 症	1 6	耳 鼻 科	1 6
呼 吸 器 疾 患	2 0			脳 外 科	1 4
そ の 他	2 5	そ の 他	3 1	そ の 他	3 2

入院状況（医療機関の変更や重複者も含む）

（H28 年度）

内 科	外 科	整 形 外 科	精 神 科	脳 外 科	眼 科	泌 尿 科	肛 門 科	耳 鼻 科	循 環 器 科	呼 吸 器 科	乳 腺 外 科
1 3	1	5	1 3	2	2	1	0	1	4	2	0

日常生活調査（ADL状況より）

（H29.3.31 現在）

区分	歩 行			食 事			入 浴			着 衣			排 泄										
	自力歩行	杖等の歩行補助器使用	車椅子使用	歩行不能	自分で可能	一部介助	全面介助	自分で可能	一部介助	全面介助	自分で可能	一部介助	全面介助	昼 間			夜 間						
														トイレ			おむつ使用	トイレ			おむつ使用		
														自分で可能	一部介助	全介助		車椅子使用	自分で可能	一部介助		全介助	車椅子使用
実数(人)	70	16	12	(12)	78	7	3	54	23	21	89	2	7	86	5	7	(7)	33	86	5	7	(7)	33
割合(%)	71.4	16.3	12.2		79.6	7.1	3.1	55.1	23.5	21.4	90.8	2.0	7.1	87.8	5.1	7.1		33.7	87.8	5.1	7.1		33.7

実施機関別人員調 (措置人員)

(H29. 3. 31 現在)

各市別人員				各支庁別人員			
実施機関名	男	女	計	実施機関名	男	女	計
札幌市(*)	16	13	29	後志総合振興局	2	1	3
小樽市	1	3	4	空知総合振興局	1	1	2
旭川市	1	2	3	上川総合振興局	1	2	3
室蘭市	0	0	0	留萌振興局	0	1	1
釧路市	1	0	1	オホーツク総合振興局	0	2	2
北見市	1	3	4	胆振総合振興局	1	1	2
夕張市	1	1	2	日高振興局	0	2	2
岩見沢市	1	2	3	十勝総合振興局	1	3	4
紋別市	2	0	2	根室振興局	0	1	1
美唄市	0	1	1	石狩振興局	1	0	1
三笠市	3	4	7	釧路総合振興局	1	0	1
名寄市	4	6	10				
富良野市	0	1	1				
千歳市	2	0	2				
稚内市	1	0	1				
石狩市	0	1	1				
江別市	1	0	1				
滝川市	1	0	1				
北広島市	1	0	1				
伊達市	2	0	2	小計(人)	8	14	22
小計(人)	39	37	76	合計(人)	47	51	98

*札幌市の1名は自由契約を含む